

学生ボランティア報告 ～先発調査隊編～



酪農学園大学
酪農学部 酪農学科 4年
高橋 裕一

先発調査隊第1班

- ・ 2011年4月15日 ～4月24日(移動日含む)
- ・ 朴 美愛(教員・キリスト教教育研究室)
- ・ 関口 明希(大学院酪農学研究科1年)
- ・ 石川 弘大(酪農学科 4年)

本学学生ボランティアが活動するために事前に現地の現状を把握するために派遣された。

特別派遣チーム (先発調査隊第2班)

- ・ 2011年4月22日～29日 7日間(移動日含む)
- ・ 高橋 裕一(酪農学科4年 家畜行動学研究室)
- ・ 高本 等 (同 農業微生物学)

高橋は、2週間前から出発が決まっていたが、何せ急な派遣であったので前日まで同行するメンバーが決まらなかった。

現地への移動

- ・ 22日

22:00 札幌駅発 急行はまなす

- ・ 23日

5:40 青森駅着 特急つがる2号

5:46 発

5:51 新青森駅着

6:10 発 東北新幹線

7:16 盛岡駅着

8:30 盛岡駅前発 岩手県交通(盛岡大船
渡線)

11:30 大船渡病院前 着

11:50 大船渡教会 着(徒歩)

大麻～盛岡間(JR往復学割)21,000円

盛岡～大船渡(回数券片道)2,000円

函館駅構内にて



盛岡駅2階から



現地にて

宿泊（活動拠点）となる、日本基督教団大船渡教会の村谷牧師と挨拶して、早速先発調査隊第1陣との作業引き継ぎをした。



目的

- ・ 実際に現地でボランティア活動を行い、今後の学生ボランティアのための情報収集を行う
- ・ 体験を通しての学び

現実を知る・・・







現地での活動

- ・ 23日 日曜礼拝の準備(礼拝堂にある物資の片づけ)・現地視察①
- ・ 24日 避難所で被災者の方々との会話・現地視察②
- ・ 25日 支援物資仕分け、日頃市中学校での物資仕分け(衣類専門)
- ・ 26日 支援物資仕分け→思わぬ来客が...
- ・ 27日 韓国のボランティアと炊き出し

24日



約300名の被災者が避難している。食事も3食配給されている。しかしながら、プライベートが守られている環境とは到底言えない。

子供たちはポータブルゲームで1人で遊んでいた。



がれきの撤去中に見つけた思い出の品.

バスケットボール大会の集合写真やトロフィーがあった.

こういう風に、瓦礫中からアルバムが見つければ外に分かりやすく置いてあるところが多くあった.

26日



物資仕分け作業
中に思わぬ来客
が来て、生演奏を
してくれた。

27日



現地の声

- ・ 若者の力が必要
- ・ 持続的にボランティアを送ってほしい
- ・ 避難生活は1ヶ月が限界・・・
- ・ 物より人間的な繋がりがほしい
- ・ 心のケアが求められている

ボランティア活動に参加して

- ・ 震災直後から「目にしている」「耳にしている」情報はテレビというビジョンの大きさからしか知ることができない。
- ・ どれだけの方が亡くなり、今でも苦しんでいる被災者の方々の生の声を聞くことができた。
- ・ 1mmでも「完全復興」に貢献できるように、考えながら活動ができた。

ご清聴ありがとうございました。

